

9月の政治・経済イベント

重要 01 主要国の景気回復のスピード

日米欧などの実質GDP（国内総生産）は4-6月期に大幅なマイナス成長を記録しましたが、新型コロナウイルス感染防止のための経済活動の制限が緩和されてきたことで、7-9月期にはプラス成長に転じる見通しです。ただ、景気回復がどの程度のスピードとなるのかは、はっきりしていません。その点を探る上で、8月分の特に米国の雇用統計や、中国、米国、日本の鉱工業生産や小売売上の動向が注目されます。

重要 02 米国大統領選挙投票まであと2カ月

民主・共和両党の正・副大統領候補が正式に指名され、米国の大統領選挙は11月3日の投票に向けてクライマックスを迎えつつあります。感染症防止策、景気対策、外交などを巡り、激しい論戦が繰り広げられるでしょう。また、トランプ大統領が支持を伸ばすために、強硬な中国封じ込め策を打ち出すかといった点も注目されます。

重要 03 新型コロナウイルスのワクチン、治療薬の開発状況

世界経済の回復のスピードは、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の導入のタイミングや効果による所も大きいでしょう。大規模な効果の検証が始まっているワクチンもあり、開発状況が注目されます。高い効果が確認され、早期に大規模な導入が見込まれれば、金融市場では先行きの不透明感が払しょくされるでしょう。一方、効果に疑問が出たり、導入のタイミングが遅れそうとの見通しが出たりすれば、失望感が生じる可能性もあります。

9月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(火)	日本 	法人企業統計（4-6月期）
4日(金)	米国 	雇用統計（8月）
7日(月)	中国 	貿易収支（8月）
10日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
15日(火)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（8月）
15日(火)	米国 	鉱工業生産指数（8月）
16日(水)	米国 	小売売上高（8月）、金融政策発表
17日(木)	日本 	金融政策発表
29日(火)	米国 	第1回大統領候補公開討論会（オハイオ州クリーヴランド）
30日(水)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高（8月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。